

名勝・高田松原の再生をめざして



岩手県陸前高田市

特定非営利活動法人
／岩手県、陸前高田市

高田松原を守る会

① 社会資本の概要

東日本大震災前の高田松原は、白砂青松の美しい松原で、郷土の誇りであり、市民等多くの人々から愛され親しまれていました。松林や砂浜、古川沼などの自然に恵まれ、市民の憩いの場、健康づくりの場、楽しい思い出づくりの場となっていました。夏には県内外から多くの海水浴客が訪れ、陸前高田市

の交流人口の拡大に貢献していました。しかしながら、平成 23 年 3 月 11 日に襲来した大津波により、美しい松林は流失してしまいました。そのような中、犠牲者への追悼と鎮魂、震災の教訓の伝承、復興への意志の発信の場として、国・県・市が連携し高田松原津波復興祈念公園の整備を進めています。



高田松原津波復興祈念公園 イメージパース



高田松原再生植樹祭 (2018 年 6 月)

② 取組の背景、取組概要と創意・工夫

国の名勝である白砂青松の美しい高田松原を守り、後世に伝えようという思いで平成 18 年 3 月に発足しました。しかし、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災により陸前高田市は甚大な被害を受け、街が壊滅したことに加え、高田松原も消滅したことに市民は大きな喪失感を抱きました。

これを受け、復興に向けて市民に少しでも希望を与えられるよう、高田松原を再生させたいという会

員の強い意欲、義務感が活動を動かしており、さらなる精力的な活動が必要なため、平成 27 年に特定非営利活動法人に移行し、自治体からの補助金や助言をもらいながら防災機能を有する高田松原の再生に取り組んでいます。更に、高田松原津波復興祈念公園のグループ登録を行い、今後は、公園の管理運営について、積極的に関わっていくことにしています。



高田松原での清掃活動 (2011 年 10 月)



地元中学生による松苗植樹 (2017 年 9 月)



高田松原での除草作業 (2018 年 7 月)

③ 活動の成果や波及効果等

植樹祭には、県内外から多くのボランティアが参加し、これからの高田松原への希望を抱かせる活動につなげている他、「高田松原再生講座」・「わたしの高田松原作品コンクール」を開催し、高田松原再生への関心の拡大に寄与しています。また、これらの活動を通じて、陸前高田市の交流人口の拡大にも貢献しています。



第 1 回高田松原再生講座 (2015 年 2 月)



第 1 回「わたしの高田松原」作品展 (2017 年 2 月)

所在地

岩手県陸前高田市米崎町字地竹沢 62 番地

活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 高田松原を守る会
(0192-22-7992)

対象となる社会資本

高田松原海岸
※管理者：岩手県

●● 喜びの声 ●●



受賞者

特定非営利活動法人 高田松原を守る会
理事長 鈴木 善久

コメント

東日本大震災で失われた郷土の名勝・高田松原の再生に取り組む活動が評価をいただき、国土交通省の「手づくり郷土賞」に選定されましたことは、高田松原を守る会にとってこの上ない喜びです。活動を支援して下さる皆様に深く感謝いたします。

活動の内容

植樹祭の開催、高田松原再生講座の開催、わたしの高田松原作品コンクールの開催など

活動の経緯

平成 18 年 任意団体発足
--- 平成 23 年 東日本大震災発生 ---
平成 23 年 高田松原再生活動開始
平成 27 年 NPO 法人 高田松原を守る会設立
平成 29 年 高田松原への植樹開始

